

学校だより 1月号



寺尾小だより



＜学校教育目標＞「自ら進んで 学ぶ子 仲よくする子 きたえる子」

＜1月の生活目標＞「感謝して食べよう」

川越市寺尾979-2 TEL 049-245-9555 FAX 049-240-1765 E-mail:teraosho@city.kawagoe.saitama.jp

川越市立寺尾小学校
令和3年1月5日（火）

一年の計は元旦にあり～年頭に思うこと～

校長 長澤 誠

保護者の皆様、地域の皆様、明けましておめでとうございます。コロナ禍の中で、例年とは違った年末年始を過ごした御家庭も多かったのではないのでしょうか。

今年の干支は「丑（うし）」です。牛の特徴は「粘り強さと誠実」です。古くから酪農や農業で人々を助け、共に生活してきた生き物です。大変な農作業も、貴重な労力として地道ながらも最後まで手伝ってくれました。このことから「粘り強さや誠実」が特徴とされるようになったとのことです。また、丑年は、先を急がずに一步一步着実に物事を進めることが大切な年といわれています。「結果を求める時期」ではなく「結果につながる道をコツコツと積み上げていく時期」とされているようです。新しい年が皆様方にとって健康でよい年になりますことをお祈り申し上げます。

さて、歴の上では新年(令和3年)となりますが、寺尾小学校の第3学期が始まりました。子供達もそれぞれに自分の願いや目標を家族と共に立てたことでしょう。「一年の計は元旦にあり」といわれるように、自分の目標をしっかりと持って、新しい年のスタートを切ってほしいと思います。

少し前になりますが、秩父神社へ行ってきました。歴史と由緒ある境内を眺めながら、先人の思いや地域の温かさを感じた次第です。その中で、家族の子育てについて印象に残ったことが2つあります。

1つ目は、「お元気三猿（さんざる）」です。「三猿」といえば、修学旅行で行った日光東照宮の「見ざる・聞かざる・言わざる」が有名ですが、秩父神社の三猿は「よく見て・よく聞いて・よく話そう」という、現代の情報化社会（効率化、時短化）やコミュニケーションが希薄といわれる社会にマッチしているといわれています。元気で笑顔が絶えない生活ができますようにという願いが込められているそうです。



お元気三猿（さんざる）

2つ目は、「子宝 子育ての虎」の場所にあった「親の心得」です。

「赤子には肌を離すな 幼児には手を離すな 子供には眼を離すな 若者には心を離すな」

という表札からは、自分自身の子育てを振り返ると共に、寺尾小の子供達への接し方等を考える機会となりました。

「子供は、家庭で芽を出し、学校で花を咲かせ、地域で実らせる」という言葉があります。本年も、家庭や地域と連携して、子供達一人一人の花を咲かせることに、職員が一丸となって努めてまいります。皆様方の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



親の心得